

産学連携 日本福祉大学の教材作りに参画

オンデマンド教材「知多半島のふくし」をホンダカーズ東海で撮影しました！

株式会社ホンダカーズ東海では、日本福祉大学経済学部谷地宣亮教授の専門演習Ⅲにおいて、「産学連携授業」を実施しております。この取り組みは、自動車業界の仕組みやディーラーの役割を、学生のみなさんに経営学やマーケティングと結びつけながら学んでいただくものです。

オンデマンド教材「知多半島のふくし」をイオンモール東浦ショールームで撮影

この度、日本福祉大学様とのご縁がさらに広がり、学内で使用されるオンデマンド教材「知多半島のふくし」の撮影を、ホンダカーズ東海イオンモール東浦ショールームにて行いました！

カメラが回る中での実演や解説は少し緊張感もありましたが、弊社取締役の水口をはじめ、メンバー全員が「学生のみなさんに『ふくし』をより身近に感じてほしい」という想いを込めて、熱の入った撮影となりました！



本田技研工業からもサポート

私たちの想いに共感してくださった本田技研工業株式会社の福祉事業グループより、政井様が遠方から特別に来店し、撮影に全面協力してくださりました。HONDAの福祉車両開発をおこなっている「メーカー（本田技研工業）」と、実際にお客様に最も近い場所でサポートを行う「販売店（ホンダカーズ東海）」がタッグを組むことで、動画教材としての専門性と、地域に寄り添う温かさを兼ね備えた、特別な解説動画を収録することができました。



写真左側より

・本田技研工業株式会社
福祉事業グループ
アシスタントチーフエンジニア
政井 健司 様

・日本福祉大学
経済学部 教授
経済学部長
谷地 宣亮 様

・株式会社ホンダカーズ東海
取締役
水口 守史

・株式会社ホンダカーズ東海
福祉車両スペシャリスト
竹内 浩二

実車を使った「乗車体験と解説」



今回の撮影・教材の主役となったのは、HONDAの福祉車両「NBOX スロープ」です。

撮影では、弊社の福祉車両スペシャリストである竹内や本田技研工業の政井様を中心に、

- ・ 実際に車いすを使っでの乗車体験
- ・ スロープの安心・安全な使い方の実演
- ・ HONDAが福祉車両に込めた想いや機能の詳しい解説

などを行いました。

普段なかなか見る機会の少ない福祉車両ですが、誰にとっても移動の喜びを感じていただける工夫が、この1台にたくさん詰まっていることを分かりやすくお伝えしています。